

那覇港管理組合常勤副管理者への就任にあたって

那 覇 港 管 理 組 合
常 勤 副 管 理 者 下 地 良 彦



令和8年5月30日付けで、那覇港管理組合常勤副管理者に就任しました下地良彦と申します。

私は、平成元年4月に沖縄県土木建築部に採用され、港湾、都市計画、道路等の社会基盤の整備に従事してまいりました。また、令和6年4月からは、那覇港管理組合の参事監兼企画建設部長として、那覇港の整備・管理・運営に携わってまいりました。これまでの港湾行政等の経験を活かして、今後の業務に取り組んでいきたいと思っております。

さて、四方を海に囲まれた沖縄において、那覇港はまさに「経済と物流の生命線」であり、県民生活と沖縄経済を支える総合物流拠点としての重要な役割を担っています。また、近年では、国際クルーズ船の寄港増加など、観光立県・沖縄を牽引し、地域の賑わいを創出する「国際交流の拠点」としての役割もますます大きくなっています。

一方で、那覇港を取り巻く環境は常に変化しており、増加する貨物等に対応するための港湾施設の整備、港湾DXやカーボンニュートラルポートへの対応など新たな課題への取組も急務であります。また、老朽化した港湾施設の更新や修繕、さらには、激甚化する自然災害への備えなど、「防災・減災、大規模災害に強い港湾づくり」も強力に推進する必要があります。

このような課題解決のため、沖縄県、那覇市、浦添市が一体となった那覇港管理組合の果たすべき役割は、今後さらに重要性を増していくと考えています。

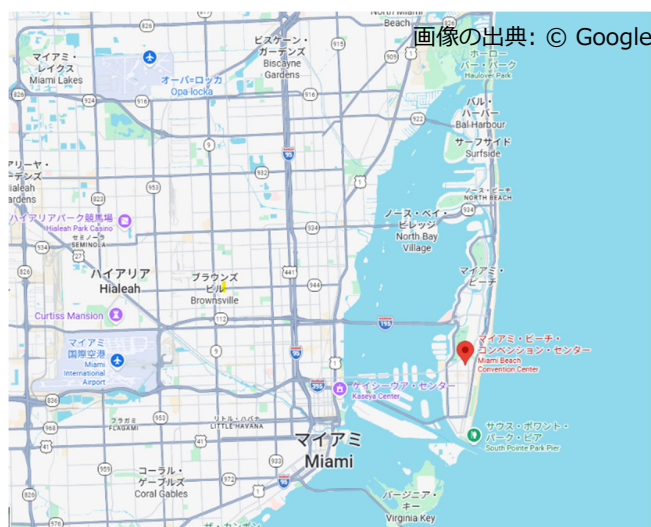
常勤副管理者の任務は大変な重責と認識しておりますので、これまでの経験を活かすとともに、関係各位のご指導とご協力をいただきながら、那覇港の課題解決及び開発発展のために全力を尽くす所存でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

世界最大のクルーズ業界展示会 Seatrade Cruise Global 2026 に出展しました！！

(みなと振興課)



2026年4月13日(月)から16日(木)にかけて、米国フロリダ州マイアミで、今年で41回目となる『シートレード・クルーズ・グローバル2026』が開催されました。本展示会は、クルーズ業界における最大規模の展示会の一つであり、寄港地選定、寄港観光の決定に影響力を持つクルーズ船社のキーパーソンが多く参加するイベントです。世界各国から来場した10,000人以上がネットワーク構築や商談を行い、会場は活気に満ち溢れていました。



会場のマイアミビーチ・コンベンションセンターの位置



コンベンションセンターのメインエントランス

那覇港管理組合は、日本政府観光局(JNTO)が主催するジャパンプースに他港と共同出展し、クルーズ船社や業界関連機関10社以上と面談するなど、那覇港を広くPRしました！！

ジャパンプースには、当組合を含め15団体が共同出展し、積極的に各港や観光地等の魅力をブースを訪れた方々に発信していました。(共同出展者：秋田県・石川県・新潟県・茨城県・横浜市・大阪港湾局・神戸市・境港管理組合・香川県・下関市・福岡市・佐世保市・熊本県・宮崎県・那覇港管理組合)



那覇港ブース



ジャパンプースエリア

展示会場は活気に満ち溢れていました！



ジャパンプースでのセレモニー



ジャパンプースで出展した参加者



香港ブース



シンガポールブース



会場ブース内での商談状況



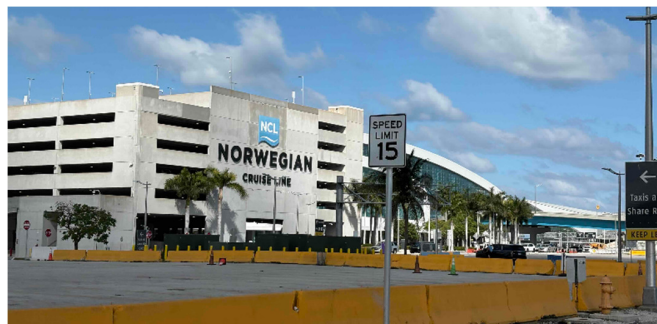
参加者で溢れる会場内

マイアミ港クルーズターミナルと周辺エリア！

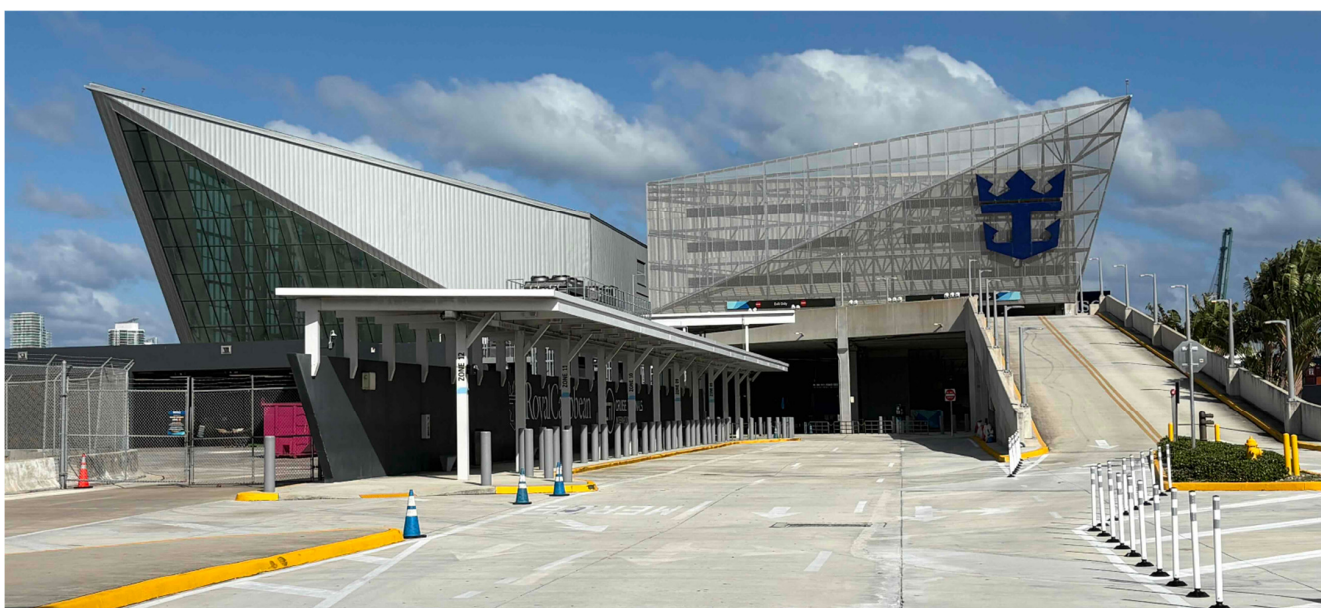
マイアミ港は、世界の主要な船社のクルーズ船母港であり、毎年数百万人のクルーズ乗客を受け入れています。マイアミ港には船社ごとに複数の専用クルーズターミナルがあり、世界最大規模のクルーズ港の一つです。



ノルウェージャンクルーズ社専用ターミナル



ノルウェージャンクルーズ社専用ターミナル横の駐車場



ロイヤルカリビアン社専用ターミナル

マイアミ市街地近くのウォーターフロントエリアにある「ベイサイドマーケットプレイス」では、ショッピングモール等に多くの市民と観光客が集まり賑わっています。



メインゲート



ショッピングモール

那覇港とびっくす



3月に初寄港したクルーズ船

3/20(金)

- パナマ船籍のMSC マニフィカ号(総トン数95,128トン、全長293.8m、乗客定員数3,223人、客室1,259)が、那覇クルーズターミナルに初寄港しました。
- マニフィカはイタリア語で「素晴らしい」という意味で、各デッキにはイタリアの観光地名がつけられています。屋根付きプールやシアターのほか、世界の料理を味わえる5つのレストラン、11のバー&ラウンジがあり、スパやジム等も充実しています。



波の上ビーチ海開き

4/5(日)

- 海水浴シーズンの到来を告げる「2026年波の上ビーチ海開き」が行われ、多くの家族連れや観光客らで賑わいました。
- セレモニーでは、若狭地域の児童らによる勇壮なエイサーが披露され、那覇港管理組合の照屋常勤副管理者(当時)や組合議会の仲村議長等による挨拶が行われました。
- あいにくの曇り空で少し肌寒くなりましたが、集まった子どもたちは今年初の海水浴を満喫し、元気に夏を先取りしました。



4月に初寄港したクルーズ船

4/6(月)

- 4月6日、ドイツマーケットを対象に設立された客船オペレーター・TUI社が運航するマルタ船籍のメイン・シフ6号(総トン数98,811トン、全長295.2m、乗客定員数2,794人、客室1,267)が、那覇クルーズターミナルに初寄港しました。(写真・上)

4/15(水)

- 4月15日、リッツ・カールトンホテルが運航するマルタ船籍のラグジュアリー船、ルミナラ号(総トン数48,072トン、全長241.84m、乗客定員数452人、客室226)が、那覇クルーズターミナルに初寄港しました。(写真・下)



5月に初寄港したクルーズ船

5/15(金)

- 5月15日、キプロスに拠点を置く新興クルーズ船社スワン・ヘレニック社のラグジュアリー探検船、マルタ船籍のスワン・ヘレニック・ミネルヴァ号(総トン数10,617トン、全長115m、乗客定員数152人)が、那覇クルーズターミナルに初寄港しました。(写真・上)

5/20(水)

- 5月20日、日本郵船傘下・郵船クルーズ社の新造船で、日本船籍のラグジュアリー船、飛鳥III号(総トン数52,265トン、全長230m、乗客定員数752人、客室381)が、那覇クルーズターミナルに初寄港しました。(写真・下)

那覇港写真館



波の上ビーチ海開きのテープカット



メイン・シフ6号の初寄港式典



那覇港管理組合庁舎のある那覇ふ頭地区

***** 那覇港だよりに関するお問い合わせやご意見、情報の送り先 *****

那覇港管理組合 総務部 総務課
 〒900-0035 那覇市通堂町2番1号
 TEL:098-868-2578 FAX:098-868-2629
 e-mail: kumiai@nahaport.jp